

インターネットによる情報提供の開始について

1 環境技術実証モデル事業ホームページについて（別添1）

環境技術実証モデル事業に関して、事業に関する情報（モデル事業検討会等による検討の状況、実証機関・技術の公募情報、各技術分野の実証試験要領、実証試験結果報告書等）をインターネットを通じて広くユーザー等に情報提供し、同事業及び実証結果の普及を図るため、環境技術実証モデル事業のホームページを7月25日に立ち上げた（URL：<http://etv-j.eic.or.jp>）。

今後は、同ホームページを本モデル事業のデータベースと位置付け、同モデル事業における情報を、一元的に提供していくこととする。

* データベース機関について

財団法人環境情報普及センターを、本モデル事業のデータベース機関として契約し、関連情報の登録、ホームページの運営等を実施する。

所在地等は、以下のとおり。

財団法人 環境情報普及センター

設立：平成元年5月24日

目的：国内及び国外における環境保全に係る科学技術に関する情報の収集及び整理を行うとともに、環境保全に係る科学技術に関する知識及び思想の普及及び啓発を図り、もって健全で恵み豊かな環境の確保に寄与することを目的とする。

所在地：東京都港区西新橋1-7-13 ナンサ虎ノ門ビル7階

電話：03-3595-3992

URL：<http://www.eic.or.jp/eic>

2 環境技術情報交流ネットワークについて（別添2）

環境技術に関する情報を幅広く収集、提供することを目指し、「環境技術情報交流ネットワーク」ホームページを、国立環境研究所と共同で8月22日に立ち上げた（URL：<http://e-tech.eic.or.jp>）。

本ホームページ内で利用できる「環境技術情報交流フォーラム」では、環境技術開発者等が先進的な環境技術について任意に情報を発信し、また、利用者（ユーザー）が目的等に応じて技術を検索し・入手する場を提供していく予定である。

(参考1) 平成15年度環境技術実証モデル事業実証試験要領(抄)

第10章 データベースの作成

1. データベース運営機関は、インターネットを通じユーザーへの情報提供を図るため、実証済みの環境技術の情報を整理し、提供するデータベースの構築を行う。
2. データベースには、策定済みの実証試験要領、実証済みの実証結果報告書を登録する他、実証機関・技術の公募情報、モデル事業検討会等による議論の状況等の関連情報を随時登録し情報提供することとする。
3. 上記データベースに加え、環境技術開発者等が、本モデル事業の実証を受けていない環境技術についても任意に情報を登録できるサイトを別途設置する。

(参考2) 環境技術実証モデル事業 HP のヒット数について

【ページビュー総数】

7月(25日以降) 4,667
8月(1日~31日) 10,909

【閲覧の多かったページ(8月分で集計)】

- 1 環境技術実証モデル事業(2105)
(本ホームページのトップページ。トピックスや更新履歴等を紹介)
- 2 米国における環境技術実証プログラムの概要と今後の展望(727)
(国際シンポジウム「環境管理のための技術実証事業」(平成15年2月開催)で紹介された米国ETV事業の資料)
- 3 実証機関/実証対象技術の公募情報(711)
(実証機関あるいは実証対象技術の公募に関する情報を掲載)
- 4 環境技術実証モデル事業について(490)
(モデル事業の実施体制、実証対象分野などを紹介)
- 5 環境技術実証モデル事業 実証技術一覧(478)
(実証が行われた技術及び実証試験結果報告書等を今後掲載予定)